



株主通信

第73期 報告書

(2019年1月1日~2019年12月31日)

TAMRON



Contents

株主の皆様へ	2
特集／中期経営計画と進捗状況	3
トピックス	4
連結財務ハイライト	5
連結財務諸表	6
セグメント別事業の概況	7-8
フォトコンテスト開催報告	9
会社情報	10

株主の皆様へ

3期連続増収増益、過去最高の当期純利益を達成いたしました。

株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
 当社第73期(2019年1月1日～2019年12月31日)の営業概況について、ご報告申し上げます。

当期における市場環境は、レンズ交換式カメラはフルサイズミラーレスカメラが堅調に推移しましたが、エントリーモデルを中心とした一眼レフカメラの大幅な落ち込みにより縮小し、交換レンズもレンズ交換式カメラ同様に縮小しました。コンパクトデジタルカメラも縮小が継続する等、デジタルカメラ市場は総じて厳しい状況となりました。一方で監視カメラや車載カメラ等の産業向け市場については増加基調が継続しました。

このような状況の下、当社グループの当期における経営成績は、主力事業である写真関連事業と特機関連事業の増収により、売上高は632億85百万円(前期比2.4%増)となりました。

利益面につきましては、円高ユーロ安等による為替のマイナス影響を受けたことや研究開発の強化に伴う販管費の増加等がありましたが、原価低減の推進や自社ブランド交換レンズの新製品が好調に推移したこと等に伴い売上総利益率が前期比2.9ポイント改善し、売上総利益が大幅増益となったことにより、営業利益は69億82百万円(前期比28.7%増)、経常利益は74億3百万円(前期比26.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は53億30百万円(前期比23.1%増)となり、3期連続増収増益、そして過去最高の当期純利益を達成しました。

配当金について

第73期の期末配当金につきましては、前期に比べ8円増配となる1株当たり43円とさせていただきます。これにより中間配当金25円と合わせ、当期の1株当たり年間配当金は68円となり、過去最高の年間配当額とさせていただきます。引き続き、業績に応じた利益配分に努めると共に、株主の皆様へ安定した利益配分を継続してまいります。

株主の皆様におかれましては、これからも引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 鯨坂 司郎

2020年3月

特集 中期経営計画と進捗状況

当社は、2020年を最終年とする中期経営計画を掲げています。2年目である2019年の進捗と、最終年となる2020年の見通しについてご紹介します。

中期経営計画 (2018年2月公表)		1年目進捗		2年目進捗		最終年度計画
2017年実績	2020年中期計画	2018年実績	2019年実績	2019年期中計画	2019年実績	2020年計画
売上高	605億円	618億円	633億円	650億円	633億円	655億円
営業利益	42億円	54億円	70億円	59億円	70億円	70億円
営業利益率	7.0%	8.8%	11.0%	9.1%	11.0%	10.7%
ROE	5.8%	8.6%	10.1%	7.9%	10.1%	9.0%
	ドル=110円 ユーロ=130円	ドル=110.45円 ユーロ=130.38円	ドル=110円 ユーロ=125円	ドル=110円 ユーロ=125円	ドル=109.04円 ユーロ=122.06円	ドル=107円 ユーロ=120円



**営業利益・利益率・ROEは19年期中計画を大きく超過
⇒ 1年前倒しで中期計画を達成**

● 一方で売上高は、19年期中計画を下回り、中期計画720億円の達成は困難な見通し

- 【主要因】● 為替影響
● ドローン市場の見通しの乖離
● 一眼レフカメラ市場の想定以上の縮小

**⇒ 利益面は中期計画以上、
売上は4期連続増収を目指す**

連結業績

2年目の2019年は、営業利益が約70億円、営業利益率11.0%、ROE10.1%と、利益面、ROEについては、期中計画を大きく上回り、中期計画を1年前倒しで達成するという大きな成果をあげることができました。中期計画では産業向け分野等での売上高拡大と、中核事業である写真関連事業での収益性改善を柱としていますが、この2年で中核事業の収益性改善を想定以上に進めることができました。

中期計画の最終年となる2020年は、売上高については前提為替レートからの大幅な円高進行や一部市場の落ち込み等により目標達成が困難な見通しですが、この2年の成果である写真関連の高収益体質を維持しつつ、もう一つの柱である産業向けでの売上高拡大として監視/F/A分野では中期計画以上の売上高を目指します。

利益面では2019年同様に中期計画以上の達成を目指し、売上高655億円、営業利益70億円、営業利益率10.7%を掲げ、4期連続増収営業増益の達成を目指します。

分野別動向 ① デジタルカメラ分野

成熟期であるデジタルカメラ分野では中核事業として収益性向上を優先し、当社収益基盤を強固にすることを掲げています。写真関連事業の利益率は2017年以降改善が続き2019年では18%台にまで向上しました。自社ブランドでの粗利率向上、経費抑制により全社の利益を牽引しています。自社ブランドでは引き続き、ミラーレスシフトの市場環境を踏まえてミラーレス用のラインナップ拡充を更に加速させ売上高を確保すると共に、高収益体質の維持を図ります。

分野別動向 ② 各産業分野

安定成長市場である監視/F/A等の分野では、モジュールビジネスが2019年では米中貿易摩擦の影響等で一部停滞したものの売上高10億円を超える事業規模に成長しました。また、レンズユニットの販売も増収が継続しており、2019年は低迷が継続していた中国市場でも増収に転換する等、成果がでてきました。2020年では、製品開発機種を更に増やし、重要市場の中国での販売強化等により中期計画以上となる売上高達成を目指していきます。

高成長市場である車載の分野でも、2019年は注力するセンシング向けの販売が本格化したことで30%以上の大幅増収を達成し、売上高は2017年比で約1.5倍増となりました。

Topics トピックス



8月 August 受賞: タムロンレンズ2製品が「EISAアワード」を受賞。14年連続受賞を達成。
9月 September CuiCui 2019 出展
10月 October 開発情報: PAV 2019 福岡出展。フルサイズミラーレス用大口径望遠ズームレンズ 70-180mm F/2.8 Di III VXD (Model A056)を開発発表。
11月 November 受賞: フルサイズミラーレス一眼カメラ対応「寄れる」単焦点レンズシリーズ3機種を発表。
12月 December 受賞: 「デジタルカメラグランプリ2020」総合金賞/金賞を受賞。国際画像機器展 2019出展 第1回日経SDGs経営調査4星に認定。PAV 2019 東京出展 第3回日経スマートワーク経営調査3星に認定。

新製品

フルサイズミラーレス一眼カメラ対応 「寄れる」単焦点レンズシリーズ3機種を発売

単焦点レンズは、撮影者が動くことによって撮影範囲を決めなければなりません。そのため、思い描いた写真が撮れた時の喜び・撮影の楽しさは格別です。超広角の世界を本格的に楽しめる20mm F/2.8 Di III OSD M1:2 (Model F050)、広角撮影を始めるのに適した24mm F/2.8 Di III OSD M1:2 (Model F051)、気軽にスナップ撮影を楽しめるオールマイティーな35mm F/2.8 Di III OSD M1:2 (Model F053)の本3機種は「多くの方にもっと気軽に単焦点レンズの楽しさを知ってもらいたい」というコンセプトのもと、美しい描写と優れた操作性を両立させたレンズです。単焦点レンズに相応しい明るさと軽さに加え、並外れて高い近接撮影能力も大きな特長です。



開発情報

小型・軽量ボディとこだわりの描写性能を両立した ソニー Eマウント用大口径望遠ズームレンズ、 70-180mm F/2.8 Di III VXD (Model A056)を開発

Model A056は「大口径望遠ズームレンズをもっと気軽に楽しんでいただく」というコンセプトのもと、フルサイズミラーレス一眼カメラとの組み合わせに最適な小型・軽量サイズを実現しました。フィルター径は弊社フルサイズミラーレス用レンズシリーズ共通のφ67mmを採用。特殊硝材を贅沢に使用することで、高い描写性能を叶えます。加えて最短撮影距離は0.85mと非常に短いため、表現の幅が広がります。AF駆動には、新たに開発した静粛性・俊敏性に優れているリニアモーターフォーカス機構「VXD (Voice-coil eXtreme-torque Drive)」を搭載。また、屋外の撮影を考慮した簡易防滴構造、汚れが付きにくくメンテナンスも容易な防汚コートをそれぞれ搭載するなど快適な撮影をサポートする機能も充実しています。



受賞

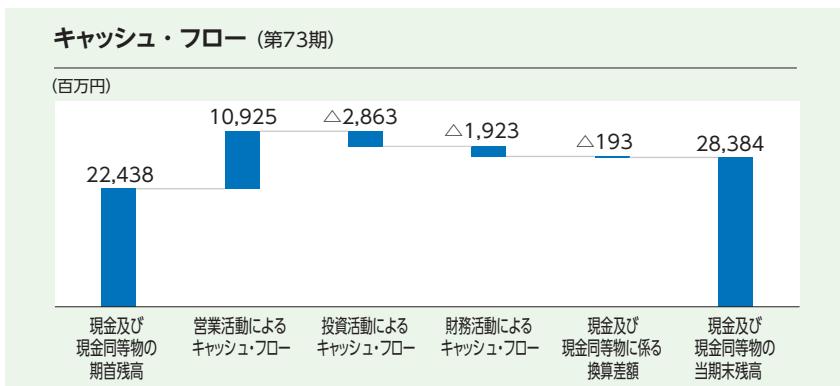
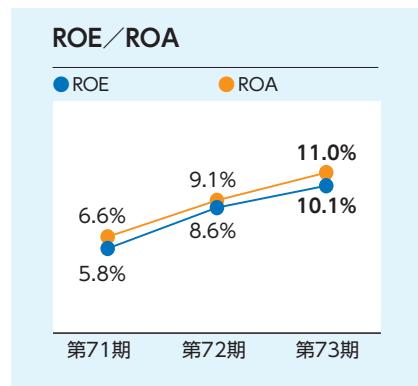
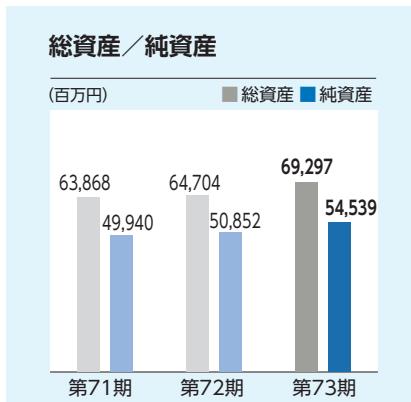
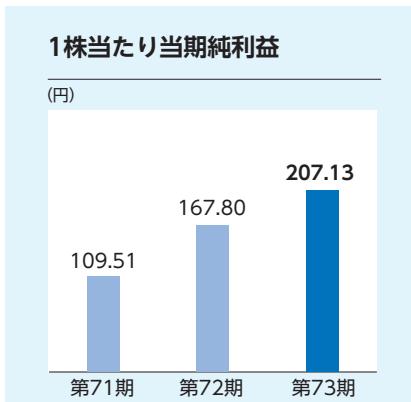
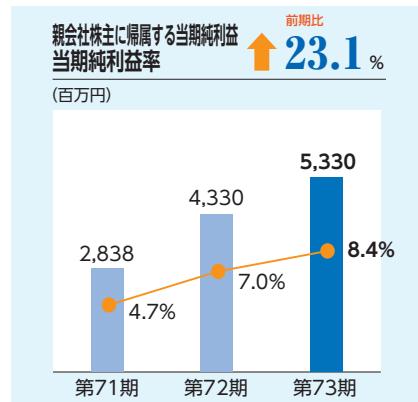
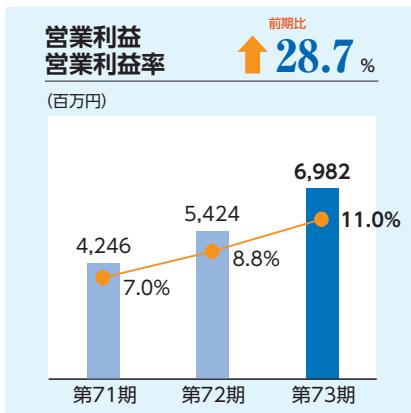
タムロンレンズ2製品が「EISAアワード」を受賞 14年連続受賞を達成

「EISA WIDE-ANGLE ZOOM LENS 2019-2020」
 17-28mm F/2.8 Di III RXD (Model A046)
 EISA AWARD Best Product 2019-2020 WIDE-ANGLE ZOOM LENS

「EISA BEST BUY ZOOM LENS 2019-2020」
 35-150mm F/2.8-4 Di VC OSD (Model A043)
 EISA AWARD Best Product 2019-2020 BEST BUY ZOOM LENS

デジタルカメラグランプリ2020において SP 35mm F/1.4 Di USDが「総合金賞」を受賞 17-28mm F/2.8 Di III RXDが「金賞」を受賞 総合金賞<交換レンズ/デジタル一眼>

35mm F/1.4 Di USD (Model F045)
 DGP 2020 総合金賞
 金賞 交換レンズ<サードパーティー/ミラーレス用>
 17-28mm F/2.8 Di III RXD (Model A046)
 DGP 2020 金賞



連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 (2019年12月31日現在)	前期 (2018年12月31日現在)
資産の部		
流動資産	51,662	47,801
固定資産	17,634	16,903
資産合計	69,297	64,704
負債の部		
流動負債	12,299	11,553
固定負債	2,458	2,299
負債合計	14,758	13,852
純資産の部		
株主資本	52,208	48,433
その他の包括利益累計額	2,330	2,418
純資産合計	54,539	50,852
負債純資産合計	69,297	64,704

Point

流動資産
仕掛品が9億65百万円減少した一方で現金及び預金が59億46百万円増加したこと等により、前期末に比べ38億61百万円増加し、516億62百万円となりました。

流動負債
未払法人税等が4億67百万円増加したこと等により、前期末に比べ7億46百万円増加し、122億99百万円となりました。

純資産
利益剰余金が37億75百万円増加したこと等により、前期末に比べ36億86百万円増加し、545億39百万円となりました。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 (2019年1月1日から 2019年12月31日まで)	前期 (2018年1月1日から 2018年12月31日まで)
売上高	63,285	61,815
売上原価	39,056	39,910
売上総利益	24,229	21,905
販売費及び一般管理費	17,246	16,481
営業利益	6,982	5,424
営業外収益	621	584
営業外費用	201	131
経常利益	7,403	5,877
特別利益	-	85
税金等調整前当期純利益	7,403	5,963
法人税等	2,072	1,633
親会社株主に帰属する当期純利益	5,330	4,330

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期 (2019年1月1日から 2019年12月31日まで)	前期 (2018年1月1日から 2018年12月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,925	7,523
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,863	△2,202
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,923	△1,861
現金及び現金同等物に係る換算差額	△193	△452
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,946	3,006
現金及び現金同等物の期首残高	22,438	19,431
現金及び現金同等物の期末残高	28,384	22,438

営業活動によるキャッシュ・フロー
税金等調整前当期純利益が74億3百万円、減価償却費が26億66百万円、たな卸資産の減少額が12億78百万円となったこと等により、109億25百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー
有形固定資産の取得による支出が25億80百万円となったこと等により、28億63百万円の支出となりました。

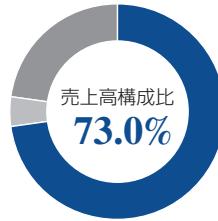
財務活動によるキャッシュ・フロー
長期借入金の返済による支出が3億41百万円、配当金の支払額が15億55百万円あったこと等により、19億23百万円の支出となりました。

セグメント別事業の概況

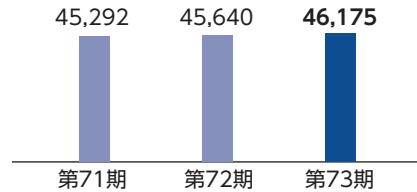
写真関連事業

自社ブランド交換レンズは、2018年に発売した35mmフルサイズミラーレス一眼カメラ対応大口径標準ズームレンズ28-75mm F/2.8 Di III RXD (A036)、2019年に発売した35mmフルサイズミラーレス一眼カメラ対応大口径超広角ズームレンズ17-28mm F/2.8 Di III RXD (A046)等のミラーレスカメラ用の新製品の販売が好調に推移しましたが、一眼レフカメラ市場の縮小の影響を受けて一眼レフカメラ用の既存製品を中心に販売が伸び悩んだことにより減収となりました。なお、OEM関連は受注機種の販売が好調に推移したことにより増収となりました。

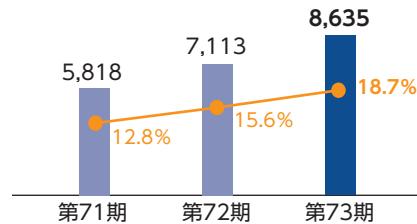
このような結果、写真関連事業の売上高は461億75百万円(前期比1.2%増)、営業利益は86億35百万円(前期比21.4%増)となりました。



売上高(百万円)



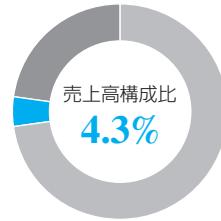
営業利益(百万円) / 営業利益率



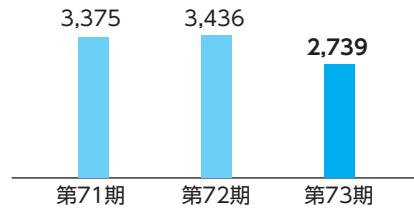
レンズ関連事業

コンパクトデジタルカメラ用レンズが市場縮小の影響により減収となり、ドローン用レンズも受注機種の販売が伸び悩んだことにより減収となりました。

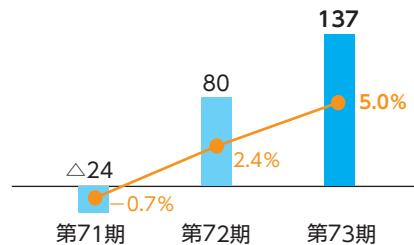
このような結果、レンズ関連事業の売上高は27億39百万円(前期比20.3%減)となりましたが、製品ミックス改善等もあり営業利益は1億37百万円(前期比69.3%増)となりました。



売上高(百万円)



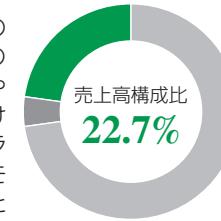
営業利益(百万円) / 営業利益率



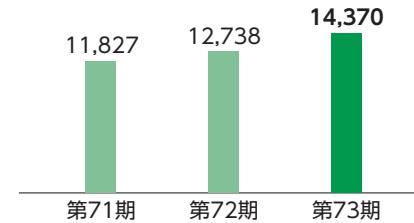
特機関連事業

車載カメラ用レンズが市場成長の影響に加えてセンシング向け製品の販売増により2ケタ増収となり、監視やFA / マシンビジョン用等の産業向けにおいても、中国市場での監視カメラ用レンズの販売や注力分野のカメラモジュールの販売が好調に推移したこと等により増収となりました。

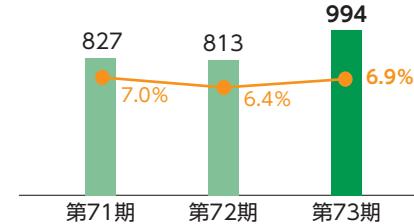
このような結果、特機関連事業の売上高は143億70百万円(前期比12.8%増)、営業利益は9億94百万円(前期比22.3%増)となりました。



売上高(百万円)



営業利益(百万円) / 営業利益率

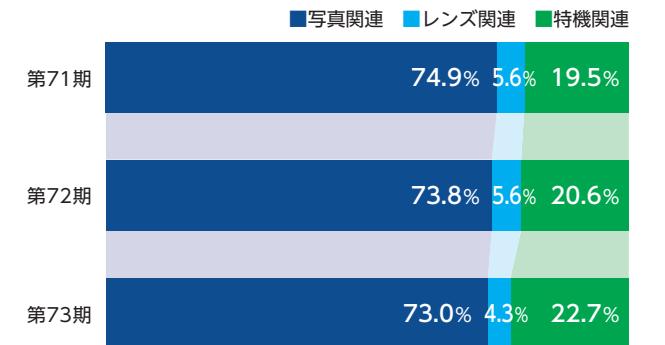


セグメント別業績の推移

	第71期	第72期	第73期	
写真関連	売上高	45,292	45,640	46,175
	セグメント利益	5,818	7,113	8,635
レンズ関連	売上高	3,375	3,436	2,739
	セグメント利益または損失(△)	△24	80	137
特機関連	売上高	11,827	12,738	14,370
	セグメント利益	827	813	994
セグメント利益の調整額	△ 2,376	△ 2,583	△ 2,784	
連結営業利益	4,246	5,424	6,982	

※セグメント利益の調整額とは、当社の総務、経理等の本社部門に係わる配賦不能営業費用等です。

連結売上高構成比率の推移



フォトコンテスト開催報告



第12回 タムロン鉄道風景コンテスト

「鉄道の街大宮」に本社を置く当社は、さいたま市、さいたま市教育委員会、さいたま商工会議所のご後援をいただきながら、地域の活性化と鉄道文化の振興に貢献することを目的とした「タムロン鉄道風景コンテスト」を2008年より毎年開催しています。

今回は、応募総作品数7,843点、応募のべ人数2,038件と、応募点数、のべ人数ともに過去最高となるご応募をいただきました。審査員である鉄道写真家、広田尚敬氏とフォトライター「鉄子」として人気の矢野直美氏により厳正な審査が行われ、全87名の方が入賞されました。

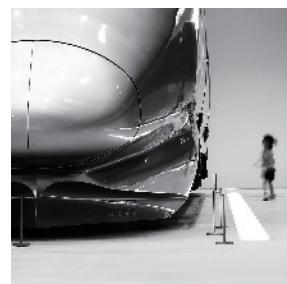


一般の部大賞 受賞作品
「ドクターイエロー、田んぼを走る」
黒須 雪美様



小・中・高校生の部大賞 受賞作品
「春の風景」
玉田 光様

また、鉄道写真の魅力と楽しさを更に広く知っていただくために、2019年よりInstagramを通じたフォトコンテスト「タムロン鉄道風景 Instagramコンテスト2019」を開始しました。



Instagram大賞 受賞作品
HOTO: 柳田 遼太 @ryota.y222

第16回 タムロン・マクロレンズフォトコンテスト

マクロレンズフォトコンテストは、マクロレンズのPR及び普及を目的に2004年から毎年開催しているものです。このコンテストの特徴は、当社のマクロレンズはもちろんのこと、マクロレンズであればメーカーを問わず、旧モデルも含めて広く作品を募集していることにあります。分野はネイチャー部門とノンジャンル部門を設定しています。

第16回はプリント作品及びネットによるご応募の合計で、応募人数 1,814名、応募総作品数 5,261点と、たくさんのご応募をいただきました。審査にあたっては、今回より新たにネイチャーの部は並木隆氏に、ノンジャンルの部は大村祐里子氏に行っていただき、お二人の厳正なる審査の結果、全29名の方が入賞されました。



グランプリ 受賞作品
「eye」 丹羽 賢一様

会社概要

商号	株式会社タムロン
創業	1950年11月1日
設立	1952年10月27日
本社	埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1385番地
資本金	69億23百万円
従業員数	4,609名(連結)

役員

2020年3月26日現在

代表取締役社長	鯨坂 司郎
取締役副社長	桜庭 省吾
取締役副社長	阿保 正行
常務取締役	増成 弘治
常務取締役	北爪 泰樹
常務取締役	大塚 博司
常務取締役	張 勝海
取締役	大谷 真人
取締役	岡安 朋英
取締役	佐藤 勇一*
取締役	片桐 春美*
常勤監査役	手塚 努
常勤監査役	平山 隆志*
監査役	利根 忠博*
監査役	奈良 正哉*

注1. ※印の取締役は社外取締役、監査役は社外監査役であります。
注2. 当社は、取締役 佐藤 勇一、取締役 片桐 春美、監査役 平山 隆志及び監査役 奈良 正哉を東京証券取引所の定める独立役員として、同取引所に対し届け出しています。

株式の状況

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	25,950,000株
単元株式数	100株
株主数	4,054名 ※単元未満株主除く

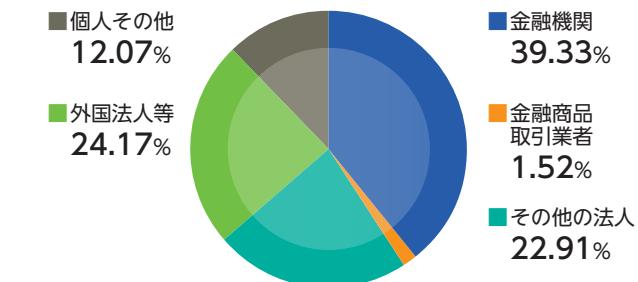
大株主

株主名	所有株式数(千株)	持株比率
株式会社ニューウェル	4,898	18.89%
ソニー株式会社	3,129	12.07%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,763	6.80%
株式会社埼玉りそな銀行	1,122	4.33%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,002	3.86%
日本生命保険相互会社	580	2.23%
GOVERNMENT OF NORWAY	551	2.12%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	468	1.80%
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	371	1.43%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	325	1.25%

注. ソニー株式会社の持株数3,129千株は、みずほ信託銀行株式会社へ委託した信託財産であります。信託約款上、議決権の行使並びに処分権については、ソニー株式会社が指図権を留保しております。

株式所有者別分布

※単元未満除く



株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで

定時株主総会 毎年3月

基準日 定時株主総会 毎年12月31日
期末配当 毎年12月31日
中間配当 毎年6月30日

単元株式数 100株

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
(電話照会先) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

※ 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

公告方法 電子公告 ※ ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

当社ホームページ <https://www.tamron.co.jp>

お知らせ

● 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

● 未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ソーシャルメディア 公式アカウント

 <https://twitter.com/TamronJP>
タムロン製品・サービスに関する最新情報やイベント情報、企業情報など幅広い情報をいち早くお届けします。

 <https://www.facebook.com/tamron.highpowerzoom>
写真レンズに関する製品情報の他、最新のHPコンテンツ紹介、フォトコンテストや各種イベント・キャンペーン情報を発信しています。

 <https://www.instagram.com/tamronjp/>
タムロンレンズで撮影された写真をアップしていきます。ユーザー参加型のイベントの他、#tamronを付けて投稿頂いた写真には積極的にいいねさせていただきます。

 <https://www.youtube.com/user/tamronpr>
CSR活動や、タムロンのものづくり、写真家による製品レビューなど、タムロンの取り組みを動画で発信しています。

株式会社タムロン

〒337-8556 埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1385番地
TEL 048-684-9111 (代) FAX 048-683-8289 <https://www.tamron.co.jp>

■ IR情報関連に関するお問い合わせ：経営企画室
TEL 048-684-9114 (午前9:00~午後5:20) FAX 048-683-8282
e-mail: kabushiki@tamron.co.jp

ホームページのご紹介

当社ホームページでは、事業内容をはじめ、商品のご紹介からIR情報に至るまでの様々な情報を掲載しています。
ぜひご活用ください。

主な掲載コンテンツ

- 企業情報
- 製品一覧
- IR情報
- CSR情報
- 採用情報
- サポート・ダウンロード

コーポレートサイト

URL <https://www.tamron.co.jp>



フォトサイト (写真レンズ用フォトサイト)

URL <https://www.tamron.jp>



UD FONT
by MORISAWA

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



本冊子は環境保全のため、植物油インキで印刷しています。